

IPA(情報処理推進機構)が実施する、独創的なアイデアと技術を持つ個人を発掘、支援する事業。専門知識を持つプロジェクトマネージャー(PM)の指導や助言のもと、開発を進める。優秀なクリエイターは「スーパークリエイター」に認定される。現在公募中である。

# IT社会の **未踏** に挑む若者たち

Super Creator

## 「ハメを外した操作性があってもいい 創造性を縛らないソフトでありたい」



LoiLo 取締役COO

すぎやま

りゅうたろう

## 杉山竜太郎

2007年度 未踏スーパークリエイター認定

### PROFILE

セガで映像デザイナーを務めるかたわら、週末にはVJとしても活躍。弟の浩二氏もまた、バンダイナムコゲームスのプログラマーだった。独立を考え豪州を放浪していたが、'06年に知人から聞いた「未踏」へ兄弟で応募。'07年に浩二氏を代表取締役として株式会社LoiLoを設立。

ペンなら描けばすぐ読める  
描いてから1分後に  
見えるソフトは意味がない

ハイビジョン映像をリアルタイムに編集、加工、再生できる「LoiLo SCOPE」を世に出した杉山竜太郎氏。同ソフトはこれまでCPUで行っていた合成や加工をGPUに分散・並列処理させ、待ち時間0秒でプレビューを可能にした。「たとえるなら、CPUは百戦錬磨の銀行員が担当する窓口。でも窓口(コア)が2つか4つしかありません。グラフィックボードの専用プロセッサ(GPU)は新米行員だけど、窓口が240もある。そんな画期的な仕組みの画像

処理エンジン「回向」が、未踏に採択されたプロジェクトだ。「未踏」がなければ……おそろしく起業していきなかつたでしょう

元はVJソフトだった回向を、未踏事業で映像編集ソフトにまで昇華させた杉山氏。「やるよと決めたからには本気で開発に集中しました。辞めてしまつていきますから、時間とお金。資金を援助してもらつた僕は、未踏から貴重な時間をプレゼントされたのです」と振り返る。「未踏」で指導してくれたPMは仙人のような方だったそうだ。「常に先を見ていて、具体的に何をしろとは言わずに方向性を

### 高速というだけでなく楽しさも追求したSuper LoiLoScope

最新のCPUでも再生するだけで精一杯と言われる高画質ハイビジョンムービーを、リアルタイムで編集・加工し、レンダリングの待ち時間なしでプレビューできる。ファイルを「投げて」仕分けしたり、マグネットでグループ分けできる操作性はゲームをプレーするように楽しい。



抽象的に示唆してくれるので、さまざまな具体策を模索できました。草木を愛でて育てるように僕らを伸ばしてくれました」自分たちに続く後輩たちに向けては、「会社にいると昼飯どきに同僚というアイデアで盛り上がったたりすると思うんです。そういうものこそ、会社に提案しないで、バンドやろうぜ、みたいなノリで、未踏」に持つて行つたらいいと思います。大企業ではポツンになってしまふ奇抜な案でも、未踏」なら採択されますよ」

**インターフェイスは無敵大奇抜なものがあったも  
いいと思うんです**

リアルタイム描画というゲームの技術を、映像ソフトに応用した杉山兄弟。無限大のデスクトップを拡大縮小し、素材を投げた「磁石」にくっついたり、使っているだけで楽しい操作性はゲームそのものだ。ある子ども向けイベントでLoiLo SCOPEが採用された際、子どもたちはすぐに使いこなしたという。そのことから、独創的だが直感的な操作は実証された。

「メールソフトとか使つていても楽しくないじゃないですか。もっとハメを外した操作方法があつてもいいと思うんです。人の感覚を反映できるツール、誰でも楽しく使える操作性。そんなソフトを今後も作り続けたいですね」。湘南の潮風香るオフィスから、楽しさが創造される。